

令和2年度(元年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市文化会館 >

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ～ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 文化会館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 文化会館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析・評価・指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	(1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P10.11(利用率・利用人数) ※平均値比93% =(R元度実績)÷(過去3年間実績平均値) 大ホール:60.0%(平均値比98.0% =60.0÷61.2%) 小ホール:59.4%(平均値比99.2% =59.4÷59.9%) 展示室A:51.5%(平均値比81.1% =51.5÷63.5%) 展示室B:66.6%(平均値比90.1% =66.6÷73.9%) 大会議室:48.0%(平均値比91.4% =48.0÷52.5%) 練習室1:53.3%(平均値比95.3% =53.3÷55.9%) 練習室2:52.9%(平均値比91.8% =52.9÷57.6%) 練習室3:57.1%(平均値比106.7% =57.1÷53.5%) 練習室4:26.7%(平均値比95.0% =26.7÷28.1%) 和室:33.8%(平均値比87.3% =33.8÷38.7%)	4点		
				(新型コロナウイルスの影響度合いを加味し、2月までの利用率での比較) 平均値比(98%)=利用率(57.9%)÷59.1%							
		(2)市の方針の策定・推進状況(10点)	②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※平成28年度大小ホール工事により、利用できない期間があるため、大小ホールのみ29・30年度との利用人数での比較	105%未満～95% 4点	年次報告書P10.11(利用率・利用人数) ※平均値比95.8% =(R元度実績)÷(過去2年間実績平均値) 大ホール:72,729人(平均値比93.7% =72,729人÷77,656人) 小ホール:26,129人(平均値比102.5% =26,129人÷25,502人) ※平均値比87.5% =(R元度実績)÷(過去3年間実績平均値) 展示室A:20,280人(平均値比81.3% =20,280人÷24,945人) 展示室B:18,687人(平均値比88.0% =18,687人÷21,246人) 大会議室:23,046人(平均値比90.0% =23,046人÷25,620人) 練習室1:8,800人(平均値比92.4% =8,800人÷9,520人) 練習室2:5,153人(平均値比87.1% =5,153人÷5,919人) 練習室3:6,008人(平均値比104.5% =6,008人÷5,750人) 練習室4:1,717人(平均値比89.6% =1,717人÷1,917人) 和室:2,533人(平均値比69.9% =2,533人÷3,623人)	4点		
				(新型コロナウイルスの影響からH31.4月からR2.2月までの利用人数累計にH31.3月利用人数を含む) 平均値比(100%)=利用人数(201,894人)÷201,698人							
		(3)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P11～12(文化事業一覧) ・市民文化祭 邦楽の部 来場者 702人 出演者376人(40団体) ・市民文化祭 合唱の部 来場者 427人 出演者259人(18団体) ・市民文化祭 器楽の部 来場者 195人 出演者144人(18団体) ・市民文化祭 ダンスの部 来場者 2,729人 出演者 863人(35団体) ・19音市 R元 800人(H30 800人)	仕様書以上 13点	・「市民文化祭」については、4部門合計の出演団体数は111団体で、前年よりも増加した。(5団体増、前年比104.7%)しかし、出演者数は1,642人となり前年比で72人減少している。(前年比95.8%)これは各文化団体の活動は変わりなく継続されているものの、高齢化・少子化により構成メンバーが徐々に減少傾向にあることが原因である。その中で、邦楽の部では箏曲と舞踊団体との合同出演、合唱の部では出演者と来場者が一緒に歌うコーナーなど、新しい交流の機会が生まれる成果がみられた。 【出演者比較】 邦楽の部:H28 330人→H29 405人→H30 417人→R元 376人 ダンスの部:H28 655人→H29 1,011人→H30 865人→R元 863人 器楽・合唱の部:H28 405人→H29 639人→H30 432人→R元 403人 ・19音市は、市内外で活動するバンド(14団体)の発表会とハンドメイド作家によるクラフトマーケットを同日に開催し、前年度と同様の参加があった。新しい取り組みとして中学校ギター部員による演奏やワークショップも取り入れている。	13点		
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P12～23(文化事業一覧) ・ホール事業 大小ホール計18事業、12,103人(P17～19) ・市民の文化活動支援事業 5事業2,822人(P14):「まるごと1日音楽の日」では、陶都楽友協会等の市民団体と連携したコンサートや体験ブース、名古屋音楽大学と連携した楽器体験コーナーなどを幅広く展開。子どもから高齢者が多く集まり、1日音楽を楽しんだ。 ・はじめてのアート事業 23事業4,037人(P13,15,21):たじみワンコイン寄席5回1,126人(すべて完売)、夏休み子どもパーク1,420人、多治見de和芸(狂言・講談・落語・演劇講座)延べ447人 ・普及活動事業 12事業855人(P13,21,22):おんがくのたね 小学校9校68人、伝統芸能アウトリーチ(狂言) 小学校2校67人、U18演劇サポート高校2校6回102人、従来から行っている小学校へのアウトリーチに加え、高校(演劇部)に向けたアウトリーチを初めて実施 ・ロビー事業(P13,15,20):ふらっとコンサート(8回)、ロビーdeマイコンサート(利用団体へのロビー開放)、歌声喫茶等	期待以上 14点	これまで行ってきた事業に新たな要素を加え、発展的な取り組みを多く行っている。 ・文化会館が持つネットワークやノウハウを活用して、市や市内公共施設、学校・教育機関などとの事業連携を積極的に進めている。30年度に協定を締結した名古屋音楽大学との連携は、前年のロビーコンサートに加え、アウトリーチや子ども向け楽器体験などにも大きく拡大している。 ・徐々に衰退化が進んでいる高校演劇の再活性化を目的として、演劇部のある市内高校2校と東濃地区の高校演劇部会と連携して、アウトリーチ、演技指導、ホール公演での実践講習等を3か月にわたり行った。これまで学校との連携事業は小学校が中心であったが、市内高校との本格的な連携事業は初めての試みとなった。今後も中学・高校の文化系クラブとの連携を拡大していく予定としている。 ・ワンコイン寄席、たじみ寄席、たじみde和芸等の落語事業は、他の自治体等からの視察も多くあり文化会館の特徴的な事業として定着している。	14点				
2	施設管理状況 (13点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P24(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。 加えて、特別清掃(①床の剥離清掃 ②換気扇・空調吸込み口の清掃)を実施した。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
			②保守・点検			年次報告書P24.25(維持管理業務) 加えて、①汚水・雨水マンホール内部の定期点検 ②天井点検口の状態確認点検 を独自に実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			③保安・警備			年次報告書P25(維持管理業務) 機械警備業務及び保安警備を委託	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			④小規模修繕			年次報告書P25～27(有償修理の内訳) 有償修理 全42件 総額 4,257,397円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P27(危険箇所の把握) ・チェック表を使った毎朝の点検、市公共施設管理室作成の日常点検チェックシートに基づいた点検(2週間に1回)を確実に行之い、危険箇所の早期発見に努めている。 ・常に注意を払う必要がある箇所等を拾い出した「危険発生・要注意箇所マップ」を作成、全職員で危険箇所の情報を共有し、トラブル発生時に適切な対応ができるよう備えている。元年度はさらに「雨漏り・漏水マップ」を作成し、危険箇所・要注意箇所の「見える化」を進めている。 ・協定で定められた項目以外にも独自の点検項目を設け危険箇所の把握に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		(2)その他管理業務の実施状況(3点)	①文書管理	3	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点)	年次報告書P28(①文書管理) ・多治見市のファイリングシステムに準じて適正文書管理に努めている。 ・施設内に保管されている図面類の所在がすぐにわかるよう、一覧化・データ化をおこなった。文化スポーツ課が持つ図面のリストもあわせ、両者相互で情報の共有を行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	2点		

2	施設管理状況 (12点)	(2)その他管理業務の実施状況(12点)	②環境への配慮	12	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②4項目の合計点とする。	年次報告書P28(②環境への配慮) ・電力監視の徹底を図っている。27年度末から電力の契約方法を見直し、従来の固定制(500kwに固定)から、デマンドに応じた変動制に変更し、節電とエネルギーコスト削減につながっている。 ・敷地内だけでなく国道沿い等周辺も含めた清掃を職員が毎朝行っている。 ・周辺環境美化のため、高齢者の自主組織に依頼し、屋外清掃を週2回以上行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	8点	
			③バリアフリー			年次報告書P28(③バリアフリー) ・高齢者、親子連れ等の利用が増え、手すり設置や段差解消などの施設改修を進め、誰もが利用しやすい施設づくりに努めている。元年度は、大ホール舞台裏に設置する組立式スロープの製作、第2駐車場から中庭への通路の段差解消工事を実施。 ・未就学児の入場制限のある催事の際には、必ず託児サービス(有料)を行い、子どもを持つ女性が催事に参加しやすいよう配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P29(④備品管理) ・部屋ごとの備品一覧を独自に作成し、備品の入れ替えのたびに随時更新している。また、机・椅子など種類・数量が多い備品については、写真入りの資料を作成して備品管理がしやすいよう努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P29(⑤個人情報保護) ・個人情報を含む書類等を鍵のかかるキャビネットに保管し、廃棄する際はシュレッダーで裁断、焼却処分している。 ・原則として名簿等の個人情報のメール送信は禁止している。送付する必要がある場合には、必ず関係者しか閲覧できないロックをかけている。 ・定期利用団体や講座の講師へのお問い合わせに関しては、その都度代表者や本人に確認した上で対応するようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点) 年次報告書P29(⑥事故等への対応) ・大ホール緞帳と空調ダクトの接触によりダクトの破損が発生[対応]両者が至近距離にあるため以前から接触が発生していたが、11月29日の大ホール開演時に空調の風圧によって第1緞帳が煽られ、ダクトに激しく衝突。ダクト本体の変形や断熱材の脱落が発生した。第1緞帳の運転中止と関係する系統の空調機の使用中止措置を取った後、ダクト落下防止のための対策工事を行った。 ・電話ボックスのガラス破損[対応]市民広場に設置してある電話ボックスのガラスが、深夜に何者かに叩き壊される事案が発生。会館から警察へ通報した後、設置者のNTTが警察へ被害届を提出。 ・楽屋3と小ホール客席前方扉で雨漏りが発生[対応]楽屋3は、室内を通る雨水管が劣化しピンホールから漏水していることが判明したため、配管業者に依頼し修繕工事をを行い解消。小ホール客席前方扉は、扉の上部からの雨水の浸み込みが原因のため、扉外部に庇を設置して対応。	事故なし・対応に不備なし 0点		適正な対応がされている。
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入183,024,543円÷支出185,953,785円＝98%	100%未満 3点	有償修繕にたくさんの経費を充てているため100%未満ではあるが、経営的には適正である。	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	年次報告書P31 ・大ホールロビーに関して寄せられる要望への対応について ①ロビーの演奏環境の改善要望 [対応]移動式反響板を設置した。 ②照明が少ないことへの改善要望 [対応]ロビー中央部に照明を増設した。 ③演出上、客室前室の照明のみを消灯したいとの要望 [対応]客席前室の照明スイッチの独立化工事を行った。 ・展示室での作品準備・片付け作業の安全対策について[対応]従来は利用者が脚立を使って作業していたが、特に高齢者には困難なため、安定性があり移動が楽な移動式作業台を新しく購入し、安全性の向上を図った。 ・敷地外への出口付近の安全対策について[対応]敷地南側から市道へ出る箇所の安全対策として、一時停止を促す看板を設置した。また国道19号へ出る箇所については、歩道の植栽の大掛かりな剪定を行った。	期待以上 9点	多様な要望に対して迅速かつ適切に対応している。 ・移動式反響板は元年度ネーミングライツ事業を活用して設置したが、新聞等でも報道され、演奏者・観客ともに反響があった。今後、以前から設置要望が多い小ホールの側面反響板としての活用も考えている。 ・照明の改善に関する要望が以前から多く寄せられており、館内すべての照明の現状(設置器具、消費電力)を洗い出した上で、順次対応を進めている。 ・安全性向上に関する市民・利用者の声に対して、迅速かつ適切な対応を行っている。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	年次報告書P31 ・駐車場の慢性的な不足について [対応]駅北立体駐車場の指定管理者(多治見まちづくり株)と契約し、原則会館主催事業の開催日に限り、同駐車場の2時間無料サービスを両者折半の負担により実施している。また、駐車場の混雑状況の記録化も行い、警備員の配置計画や、利用者との予約・打合せ時の説明などに役立っている。	期待以上 5点	・苦情に対し、迅速かつ適切に対処している。 ・駐車場不足に対する対処を自ら考え、実行に移している。駅北立体駐車場のサービスは年々利用が増加しつつあり、あらかじめ駅北を利用する来場者が増えるなど、混雑対策に有効となっている。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)			15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点 年次報告書P32～33 ・インターネットを使ったチケットの予約・販売システムの普及を図り、利便性が格段に向上している。またシステム導入によりほぼすべての購入者の連絡先を登録しているため、コロナウィルス感染拡大によるイベントの延期・中止対応でもスピーディーな対応が可能となっている。 ・照明のLED化に積極的に取り組んでいる。元年度、直管蛍光灯のLED化を練習室3で実施。また、外灯が少ない第1駐車場の駐輪場や第3駐車場にLEDソーラーライトを設置し、対策を行った。 ・サイン更新を、大ホール裏・楽屋周辺などバックヤード中心に全10ヶ所で実施。 ・内装・建具、消防設備、屋外の老朽化が進む場所の整備を数多く行った。	期待以上 14点	利用者の利便、安心安全を考慮した提案がなされている。 ・インターネットを使ったチケットの予約・販売システムの普及を図り、利便性向上が進んでいる。当システム導入がコロナウィルス感染拡大による利用者への連絡対応でも威力を発揮している。 ・照明に関する要望に対しては、館内すべての照明の現状(設置器具、消費電力)を洗い出し、LED化等の改善を実施している。今後も照明の改善を順次進めていく予定としている。 ・日々のこまめな点検や、修繕履歴の作成、危険箇所のマップ化などに努めており、そこで見つかった不具合箇所については、修繕対応に迅速に取り組んでいる。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点		
合計			85	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・インターネットチケット予約・販売システムの普及を図り、利用者の利便性が格段に向上した。 ・文化事業では、高校と連携した演劇事業の新規実施や音楽大学との連携の充実など、新しい取り組みが見られる。 ・「危険発生・要注意箇所マップ」を作成し、維持管理に役立て、職員が共有している。 ・駐車場不足に対する対処を自ら考え、実行に移している。 ・全体的な施設の管理運営について、概ね良好に行われている。	合計86点	極めて良好